

# 浜口歯科クリニック

浜口文彦院長

相模大野駅（相模原市南区） / 歯科

Doctor's File

ドクターズファイル

vol.1482

## 浜口文彦院長

浜口歯科クリニック(相模原市/相模大野)



季節ごとの美しい風景写真とウッディな家具、心地良い音楽が気持ちを癒してくれる「浜口歯科クリニック」。2006年10月にこの居心地の良いクリニックを開業したのは、相模大野をこよなく愛する浜口文彦院長だ。穏やかな物腰で患者に接する一方、自身の健康管理はいたってストイック。常に万全の状態での診療にあたる。大切にしているのは「わかりやすい説明を十分にする」こと。また診療室にキッズルームを設けるなど、患者の通院にかかるストレスを軽減する工夫も怠らない。一人ひとりに合った治療プランを日々提案する浜口院長に得意な治療や最近のニーズ、体力づくりのことまでたっぷり伺った。

(取材日 2011年10月19日)

## 緊張や不安を軽減するための工夫を取り入れた歯科医院

—心が安らぐ落ち着いた雰囲気クリニックですね。

ありがとうございます。歯科医院というのは大なり小なり、緊張や不安を抱えて訪れる場所だと思います。その緊張や不安をできるだけやわらげるサロンのようなイメージのインテリアにしました。壁に飾ってある風景写真や花の写真は、お恥ずかしながら私が趣味で撮ったものなんです。友人に一眼レフカメラを借りたのがきっかけでカメラに興味を持ちまして、勤務医時代、何を撮ろうかと迷っていた時に患者さんから登山を勧められ、風景や花の撮影にすっかりはまってしまいました。季節ごとに写真を換え、診察台のモニター画面にも映しています。無機質なモニターよりも患者さんの気持ちがなごむと思うんですよね。患者さんから「どこで撮ったんですか？」と聞かれることもあり、それがコミュニケーションになっています。



—待合室ではなく診察室にキッズルームを作ったのはどうしてですか？

近くの幼稚園にお子さんを通わせるお母さんがよくお見えになるんですが、診察室にキッズルームがあれば治療中、お子さんの姿が見えて安心ですよ。また、お子さんにとっても知らない場所、知らない人たちが大勢いる環境は緊張するでしょうから、お母さんの姿が見えれば安心だと思えます。お子さんを治療する場合も、まずは恐怖心を消してあげることを第一に考えています。診察ユニットにモニターがあり、DVDでアンパンマンなどのビデオを流しています。初めての治療の時には、治療の練習をして自信がついたら始めるようにしています。お子さんによってはフッ素塗布などで3カ月から半年ほど治療をしなくて気長に待つこともありますよ。せかす治療をするよりも、大切なのは苦手な治療を1回1回クリアし、無事に治療が済んだら私と親御さんが一緒になって褒めてあげることだと思えます。そうすれば子どもの意識は前向きになり、次の治療にも進みやすくなりますし、「歯医者さんは怖いところ、痛いところ」というマイナスなイメージを持たなくて済みます。

—説明に使う資料は先生のお手製だと伺いましたが。



はい、自分で作ったものをモニター画面に映し、口腔内の状態や治療の必要性、治療内容などを説明しています。専門の業者さんが作った3D映像のきれいな資料もたくさんあるのですが、患者さんにわかりやすい説明を考えると、歯科医師である自分が説明しやすいもの、つまり自分で作ったもののほうがしっくりきますね。資料づくりのような作業は結構好きなんです。小中学生の頃から図画工作が好きで、医療の仕事に関心を持ったのも、実は手塚治の漫画『ブラックジャック』が好きだったからです。歯科医師の道を選んだのは、人と多く接する仕事がしたかったからです。

## 口腔内の健康に対する意識の向上に合わせ得意な治療でニーズに応える

—ここ数年、ニーズが高まっているのはどんな治療ですか？

20～30年前は人々の口腔内への関心は薄く、虫歯になる方が本当に多かったです。歯科医師の数も足りませんでした。でも近年は歯の健康を気にする方が増え、虫歯予防の意識も高まっています。あと当院で増えているのは審美歯科と義歯に関する治療ですね。審美治療については30～40代にホワイトニングを希望する方が多く、子育てが一段落し時間に余裕ができた主婦の方や営業職の男性が積極的に取り入れているよう



に思います。ホワイトニングは歯にダメージを与えず、短時間で受けられるうえに、費用も手が届きやすいのが魅力ですね。義歯についてはご年輩の患者さんが増えてきたこともあり、お作りしたり調整をして差し上げることが多くなりました。大学病院にいた頃は部分入れ歯を作っていた経験もありますし、もともと細かい作業やものづくりにこだわる性質なので、いいものを作ろうという強いこだわりがあります。また義歯は患者さんの食生活や噛み癖に合わせて調整していきますので、最終的にはぴったりマッチしたものが出来上がりますよ。

—こちらでは歯の移植ができるそうですね。

はい。歯の移植は成人が歯を失った時にできる治療の一つです。虫歯を抜かなければならなくなった時、健康な親知らずが残っていれば移植することができるんですよ。自分の天然歯を使うわけですから拒否反応がないのが利点ですね。でも今はもっと進んでいて、健康な親知らずを抜いて保存し、必要になった時に使うという研究が進められています。いつか実現する日が来ると思いますよ。ちなみに親知らずについては、よく患者さんに「抜いたほうがいいですか？」と聞かれますが、生え方によっては虫歯になりやすいので、答えはケース・バイ・ケースです。

—子ども向けの「床(しょう)矯正」とはどんな治療なのでしょう？



現代の子どもたちは口元が発達しにくく、細面の顔が多いと言われていています。顎が狭いので生えてきた歯が収まりきれず、歯並びが乱れてくることがあるんですね。そこで顎の成長を横から促し、顎を適正な大きさに広げる床矯正が有効なのです。歯の土台となる顎が広がらなると歯が余ってしまい、抜歯をしなければなりません。この方法なら抜歯しないで済むメリットがあります。低学年で始めると半年から1年ほどで終わります。

すし、成長に伴って数年後に追加の矯正が必要になった場合でも、低学年の時に床矯正をしておくとしりやすくなります。子どもの心身の負担も費用も抑えられるのがメリットと言えるでしょう。

次→

## 町の人たちとの絆を大切に。頼られる歯科医院でありたい

—相模大野に長い間、お住まいだそうですね。長いお付き合いの患者さんも多いのではないですか？

ここに住んで、もう8年になりますからね。通っているジムやテニススクールなど、いろいろなところで患者さんと顔を合わせます。私の周りには元気なご年配の方が多く、フルマラソンに出ないかと誘われたので、今は休みの日に練習に励んでいます。仕事柄、一日中、座っていることが多いので姿勢が悪くならないよう、毎日元気でいられるよう、体力作りは必須だと思っています。





ほかにも登山、テニス、スノーボードなどをやって一年中、体を動かしていますよ。最近では患者さんの話に刺激を受けて、トライアスロンにも興味が沸いてきました。鍛錬すればレースに出るのも夢じゃないかなと思い目標の一つにしています。この町は治安が良く、駅周辺の開発も進んでいますから、まだまだ広がりを見せていくと思います。たくさんの方が集まるので活気もありますしね。新しいマンションも建っていますが、長く住んでいる方も多いので患者さんは新旧入り混じっています。家族ぐるみで通ってくださる方も少なくありません。こんなふうに地域の皆さんとつながり、輪が広がっていくことがとてもうれしいんです。

—最近の患者さんはどんな治療に興味を持っていますか？



インプラント治療に関心のある方が増えています。「インプラント」という言葉が浸透して身近な治療になったのでしょうか。顎の骨をドリルで削って穴を開け、そこにネジを埋め込むと聞くと、とても痛そうなイメージがあるかもしれませんが、例えば 30～40 代の方が 1 本だけインプラントを入れる場合、生え方が複雑で抜歯が難しい親知らずを抜くよりは楽だと思ってください。認知度が上がったことで、事故や失敗例が過度に取り上げられることがあります。治療をする歯科医師にしっかりと技術があって、患者さんとのコミュニケーションがはかかれていれば、本来はとても安全・安心な治療と言えます。

—さまざまな診療で患者さんと接する際、心がけていらっしゃることはどんなことでしょうか？

長年、歯のトラブルを抱えている方はご苦労されていますし、コンプレックスを持っていらっしゃる方も多く、何か手助けできることはありませんか？という姿勢でお話を伺うようにしています。また、お仕事が忙しくてなかなか通院できないとか、あまり費用をかけられないなど、患者さんそれぞれに事情がありますから、その方のライフスタイルを崩すことのない治療スケジュールや内容を提案するよう努めています。出産や育児で通院がままならない方はまずはお相談ください。お子さま連れでも当院にはキッズルームがありますし、子育てに慣れたスタッフもいますのでご安心ください。あとは、なかなか口に出せないデリケートな問題として、口臭があります。歯周病が原因で生じる口臭はやみくもに歯磨きをしても治りませんが、適切な治療や指導を受けると解決がとても早いので、こちらもぜひご相談いただければと思います。

相模大野に長く住み、この地の良さに惹かれて 2006 年 10 月に開業した「浜口歯科クリニック」。浜口文彦院長は、「わかりやすい十分な説明」を大切にしている。季節ごとの美しい風景写真とウッドイナ家具、柔らかな音楽が心地良い雰囲気を出す院内。診察室内にキッズルームを設け、子どもはもちろん、子どもを持つ親の通院負担の軽減にも気を配っている。一般歯科・小児歯科をはじめ、審美、欠損、歯周病治療、インプラントまで患者のさまざまな事情を踏まえ、ライフスタイルを崩さない治療プランの提案を重視。患者とのコミュニケーションを大事にし、金額や治療期間などの疑問にも丁寧に答えてくれる。長くかかりつけにしたい医院である。